

公的職業訓練の就職率の目標設定について

1 第96回労働政策審議会職業能力開発分科会(平成28年2月17日)における意見(要旨)

- 先々の雇用情勢が見通せないものの、平成32年は東京オリンピック・パラリンピックの年でもあり、国を挙げてGDP600兆円を目指しているので、やはり高い目標を掲げてやっていくほうが良いのではないか。
- 施設内訓練の目標値が80.0%という数字は、適当だと思うが、委託訓練の就職率については、74.0%の実績があるならば、70.0%ではなく、施設内訓練の就職率に近い目標を立てたほうが良いのではないか。

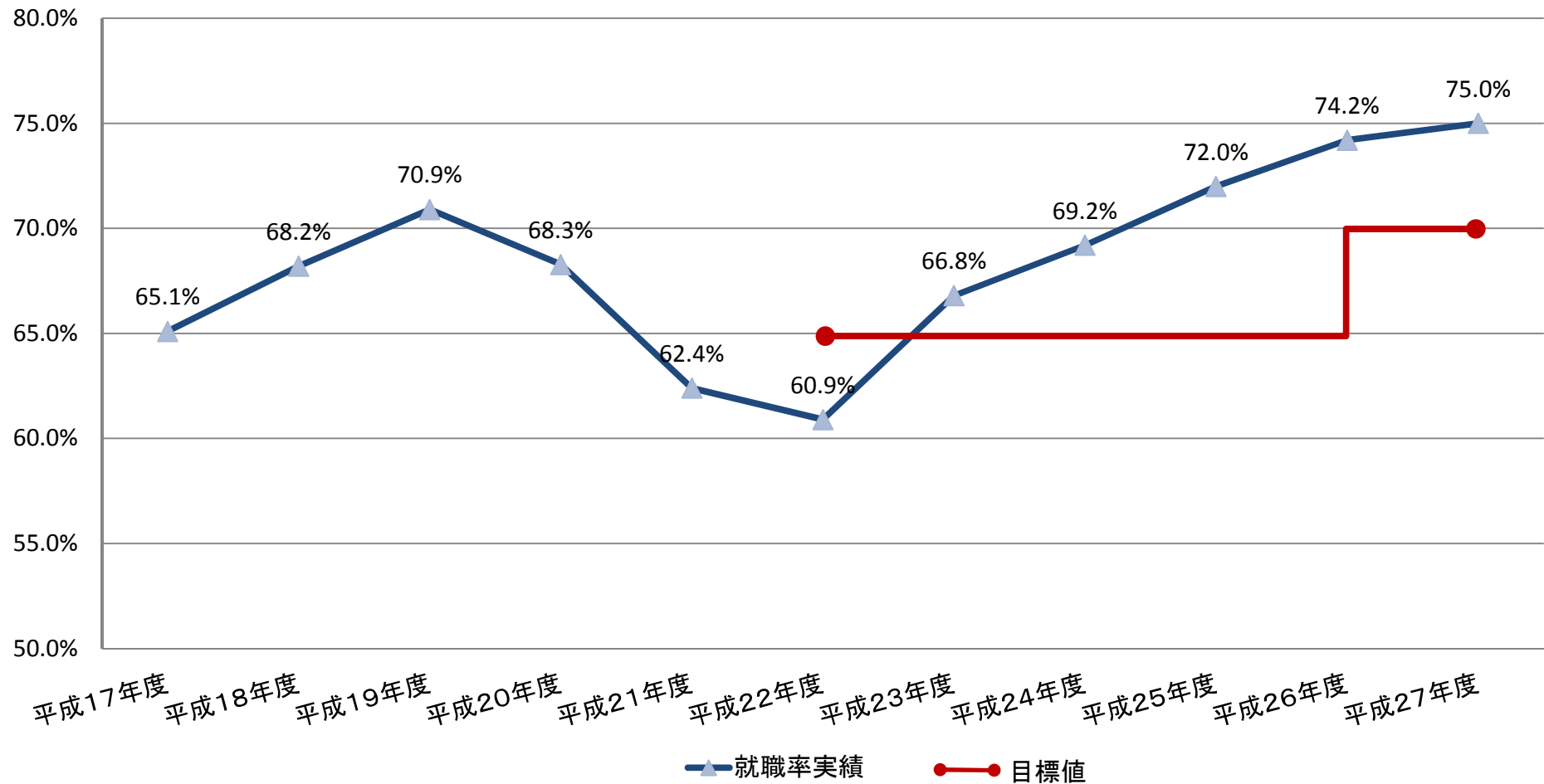
2 検討のポイント

- 公共職業訓練（離職者訓練・委託訓練）
 - ・ 平成29年度の就職率目標をどの程度にすべきか。

3 参考

	平成27年度		平成28年度
	目標	実績	目標
公共職業訓練 (離職者訓練・委託訓練)	70.0%	75.0%	70.0%
求職者支援訓練	—	—	—
基礎コース	55.0%	55.5%	55.0%
実践コース	60.0%	60.1%	60.0%

委託訓練 就職率の推移



※厚生労働省 定例業務統計報告より

※目標値は『新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ』(平成22年6月18日閣議決定)において平成32年度までの目標として65%と設定。
実績を踏まえ平成26年度から70%へ引き上げている。